# EU Trends

発表日:2019 年 11 月 11 日(月)

# スペイン再選挙後も政権発足は見通せず

～再々選挙か、それとも大連立か？～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
主席エコノミスト 田中 理(TEL:03-5221-4527)

◇ スペインの再選挙は、中道左派の与党・社会労働党が第１党の座を死守したが、他の左派系政党と合わせても議会の過半数に届かない情勢が継続。カタルーニャの元州高官の禁固刑確定で、同州地域政党の協力が得られる見込みはなくなった。今回の選挙で議席を伸ばしたかつての政権与党・中道右派の国民党や新興右派ポピュリストのボックスなどは、再々選挙での更なる党勢躍進も視野に、左派政権の誕生に協力するつもりはない。このまま政権が発足できずに再々選挙となったとしても、左派・右派勢力ともに政権発足に必要な過半数獲得は見通せない。最後の手段は、社会労働党と国民党の二大政党による大連立だが、こちらもスペイン史上で前例がなく、協議は難航が予想される。政治空白の長期化で改革や財政再建の取り組みが停滞、好調を続けてきた景気に減速の兆しも広がっており、スペインの政治・経済環境を巡る不透明感が高まっている。

４月の総選挙後に政権が発足できなかったスペインで10日にやり直しの総選挙が行われた。サンチェス首相が率いる中道左派の現与党・社会労働党（PSOE）が第１党の座を死守したが、前回同様に過半数に届かなかった（図表１）。かつての与党で中道右派の国民党（ＰＰ）が議席を伸ばしたほか、４月に初の議席を獲得した新興右派ポピュリスト政党・ボックス（ＶＯＸ）が議席を倍増させ、第３党に躍進した。その一方で、社会労働党との連立政権発足に失敗した左派政党・ポデモス連合が議席を失ったほか、リベラル政党・市民が議席を大幅に失い、カタルーニャの地域政党にも議席数を抜かれ、第６党に転落した。カタルーニャの住民投票を主導した元州政府幹部等の禁固刑が確定し、同州では選挙戦を挟んで激しい抗議運動が繰り返されていた。同州の分離独立に極めて厳しい態度を貫くボックスや国民党の躍進は、同問題が選挙結果に影響したことを示唆する。

再選挙後も政権発足の行方は混沌としている。社会労働党、ポデモス連合、ポデモス連合からの離党者が新たに立ち上げた新興中道左派・わが祖国の合計議席は158と、下院の過半数に17議席届かない（図表２）。カタルーニャを除く左派系地域政党の合計７議席、かつて政権発足に協力したことのある右派系地域政党・バスク民族党（ＰＮＶ）の７議席を合わせても過半数には届かない。左派が安定政権を発足するには、カタルーニャの地域政党の協力が必要な状況だが、元州政府幹部の禁固刑確定で協力が得られる状況にはない。他方、右派が政権を発足するには、時に極右とも称されるボックスの連立入りや閣外協力に加え、今回の選挙戦で大きく支持を落とした市民が政権発足に協力したとしても、過半数になお26議席足らない。カタルーニャの地域政党が国民党やボックスが加わる政権を支持する可能性は低く、残りの地域政党が揃って協力しても安定多数に届かない。

再選挙後も政権発足に必要なプロセスは前回同様。初回信任投票を行うまでは、政権発足に明示的な期限は設定されていない。初回の信任投票後は、一定期間中に政権発足ができない場合、再々選挙が行われる。初回信任投票での政権発足には、下院の絶対過半数（定数350の過半数＝176）の

賛成が必要となる（同国憲法第99条第３項）。初回投票で信任されない場合、２日以内に同一首相候補への二回目の信任投票を行い、単純過半数（不在票や棄権票を除いた有効投票で信任が不信任を上回る）の賛成で信任される。二回目の投票でも信任されない場合、別の首相候補を含めた信任投票の可能性が模索される（同条第４項）。初回投票から２ヶ月以内に下院の信任を得られる首相候補がいない場合、上下両院は解散され、再選挙が行われる（同条第５項）。総選挙は議会の解散から30日以上、60日以内に行われ、総選挙から25日以内に新議会が召集される（第68条第６項）。

かつて二大政党を軸と地域政党が協力する形で行われたスペインの政権運営は、二大政党と新興政党間で支持がばらけ、カタルーニャの独立問題も加わり、安定政権の樹立が困難な状況にある。このまま政権発足ができず再々選挙となった場合も、延々と政権発足ができない恐れがある。カタルーニャの地域政党は態度を硬化させており、禁固刑が確定した元州政府高官の恩赦や独立の是非を問う住民投票の実施でも認められない限り、政権発足に協力する可能性は低い。だが、今回の選挙戦での右派の躍進を受け、サンチェス首相がカタルーニャ問題で弱腰姿勢をみせることは難しい。

残る政権発足の選択肢は、国民党や市民が信任投票を棄権し、社会労働党を中心とした左派の非多数派政権の誕生を許容するか、社会労働党と国民党の二大政党による大連立政権が考えられる。前者については、今回の選挙結果を受けて右派は再選挙での更なる党勢躍進を視野に投票棄権に応じない可能性が高い。後者については、スペインで長らくライバル関係にあった両党が連立を組むのは前例がなく、政治停滞による悪影響が現実のものとなった場合の最終手段となるだろう。

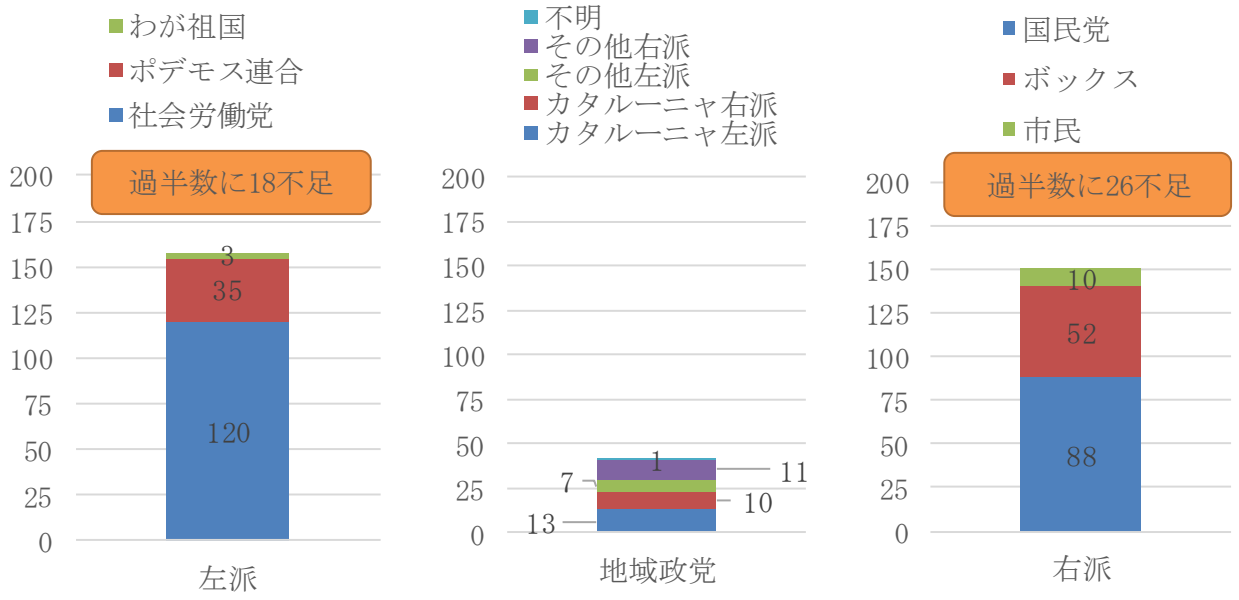
今のところスペイン経済は底堅さを維持しているが、2015年に前期比＋1.0％前後あった成長率は、昨年の各四半期は同＋0.5％に半減し、過去数四半期は同＋0.4％にまで減速している。金融市場はひとまず静観を続けているが、政治空白の更なる長期化で必要な改革や財政再建の取り組みが停滞すれば、スペインを取り巻く環境悪化が改めてクローズアップされる可能性がある。

（図表１）スペイン下院総選挙の暫定結果

| 政党 | 略称 | イデオロギー | 2019年11月 | | 2019年4月 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 得票率 | 議席 | 得票率 | 議席 |
| 社会労働党 | PSOE | 中道左派 | 28.00 | 120 | 28.67 | 123 |
| 国民党 | ＰＰ | 中道右派 | 20.82 | 88 | 16.69 | 66 |
| ボックス | ＶＯＸ | 右派 | 15.09 | 52 | 10.26 | 24 |
| ポデモス連合 | ＵＰ | 左派 | 12.84 | 35 | 14.32 | 42 |
| カタルーニャ共和主義左翼 | ＥＲＣ | 左派系（カタルーニャ） | 3.61 | 13 | 3.89 | 15 |
| 市民 | Ｃ’ｓ | 中道右派 | 6.79 | 10 | 15.86 | 57 |
| ともにカタルーニャのために | JxCat | 右派系（カタルーニャ） | 2.19 | 8 | 1.91 | 7 |
| バスク民族党 | ＰＮＶ | 右派系（バスク） | 1.57 | 7 | 1.51 | 6 |
| バスク統一党 | EH Bildu | 左派系（バスク） | 1.15 | 5 | 0.99 | 4 |
| わが祖国 | Mas Pais | 中道左派 | 2.08 | 3 | － | － |
| 人民統一候補 | ＣＵＰ | 右派系（カタルーニャ） | 1.01 | 2 | － | － |
| カナリア人民党 | ＣＣ | 右派系（カナリア） | 0.51 | 2 | 0.53 | 2 |
| 統一ナバーラ | ＮＡ＋ | 右派系（ナバーラ） | 0.41 | 2 | 0.41 | 2 |
| ガリシア人民ブロック | ＢＮＧ | 左派系（ガリシア） | 0.50 | 1 | 0.36 | 0 |
| カンタブリア地域主義党 | ＰＲＣ | 左派系（カンタブリア） | 0.28 | 1 | 0.20 | 1 |
| テルエルゼア | ＴＥ | 不明（アラゴン） | 0.08 | 1 | － | － |
| コンプロミス | Compromis | 左派系（バレンシア） | － | － | 0.66 | 1 |
| 合計 | | | 96.93 | 350 | 96.26 | 350 |

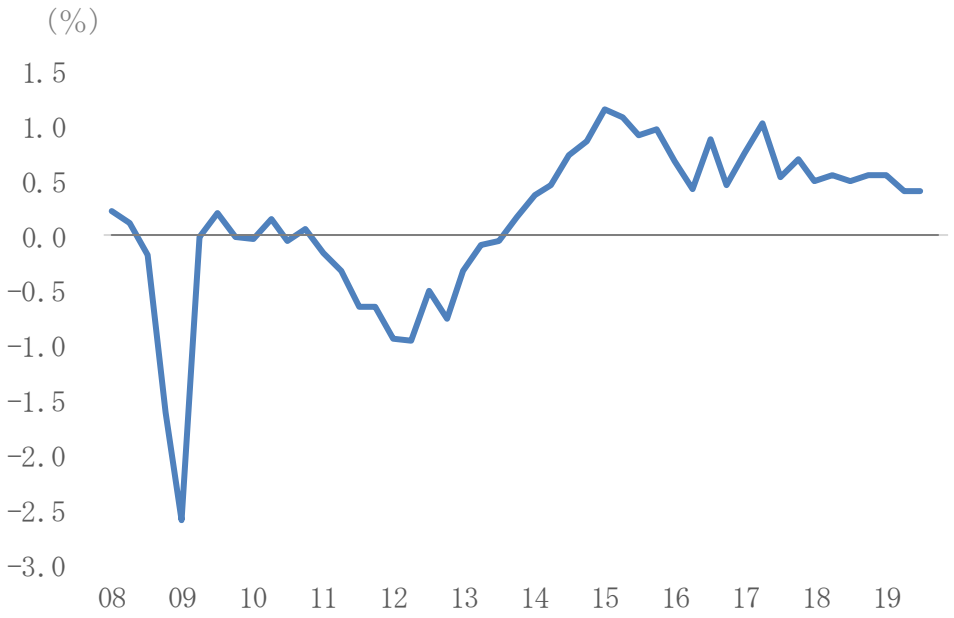
出所：スペイン議会資料より第一生命経済研究所が作成

（図表２）スペイン下院総選挙の暫定結果に基づく左派・右派勢力図




出所：スペイン議会資料より第一生命経済研究所が作成

（図表３）スペインの実質ＧＤＰ成長率の推移（前期比）




出所：欧州統計局資料より第一生命経済研究所が作成

以上

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。